



12月22日(水)は冬至となります。一年の中で一番夜が長く、その日にゆず湯に入ったり、かぼちゃを食べたりすることでかぜをひかなくなると言われています。年末年始は、生活リズムの乱れから体調を崩しやすくなります。ゆず湯やかぼちゃで栄養をつけ、かぜ知らずの健康な体を目指しましょう。

<11月の感染症のお知らせ>  
胃腸炎 20名

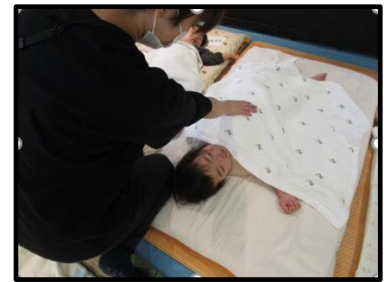
### 感染性胃腸炎について

10月後半から流行していた感染性胃腸炎ですが、約2週間ほどで落ち着き、現在は、鼻水や咳などのかぜ症状のあるお子さんが増えてきています。感染性胃腸炎のウイルスは寒くなると活動的になるので、まだまだ注意が必要です。  
クラスでの流行状況は、玄関に掲示してある「感染症(体調不良)連絡」でご確認下さい。感染症と診断されたお子さんがいる場合は、メールで配信していきます。

### 就寝時の窒息事故(SIDS)にご注意を

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、12月以降の冬期に発生しやすい傾向があります。それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

園では、睡眠中の窒息事故を予防するため、子どもの顔が見える仰向けに寝かせ、呼吸状態を確認する安全対策を行っています。



♪タイマーが鳴ったら呼吸確認

### <年末年始の急病は?>

お子さんの急な発熱や怪我でどうしたらいいかわからない時に、相談できる窓口(#8000)があります。

年末年始は、ほとんどの病院が休診となりますので、困った時は活用しましょう。

※休み期間中にインフルエンザなどの感染症と診断された場合は、休み明けに登園許可証明書の提出が必要です。

## 小児救急でんわ相談



急な発熱・頭をぶつけた・嘔吐、けいれんなど 判断に困ったら

#8000

### ★小児救急でんわ相談【#8000】事業とは

- ★小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらいいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるものです。
- ★この事業は全国同一の短縮番号#8000をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。